

今月の耳より情報コーナー

【特殊詐欺 暴力団が被害弁償】

指定暴力団住吉会系組員らによる特殊詐欺被害者の女性2人に対し、それぞれ200万と300万を支払った。被害者回復の実現は初。暴対法に詳しいM弁護士（東京弁護士会）は「末端組員が関わった事件でトップが賠償金を支払う流れができれば、特殊詐欺抑止の切り札になる」と指摘。

【ブルーライトカット眼鏡 小児に悪影響～日本眼科学会など意見書～】

意見書は「夜遅くまでデジタル端末の光を浴びると、睡眠障害を起こす恐れが指摘されている。夕方以降にブルーライトをカットすることには、一定の効果が見込まれる可能性がある。」

その一方、「液晶画面のブルーライトは曇りの空や窓越しの自然光よりも少なく、網膜に障害を生じることはないレベルで、いたずらに恐れる必要はなく、十分な太陽光を浴びない場合、近視進行リスクが高まる。ブルーライトカット眼鏡の使用は、ブルーライトを浴びるよりも有害である可能性が否定できない」などとする米眼科アカデミーなど国内外6本の研究成果を紹介。「子どもに使用を推奨する根拠はない」と結論づけた。



【履歴書の性別任意に】

履歴書の表記を巡っては、厚労省はもともと日本規格協会が示していた履歴書の様式例の使用を推奨していた。ただLGBT（性的少数者）支援団体が性別欄の削除などを求めたことから、日本規格協会が様式例自体を削除した経緯がある。

新しい様式例では、性別欄は空欄にし、求職者が記入できるようになった。履歴書下部に「記載は任意。未記載とすることも可能」と付記された。

厚労省は全国の労働局を通じて今回の様式例を企業に周知する。法的拘束力はなく様式例の通りとするかは企業が判断できる。

【火星でヘリが飛ぶ～NASA実験成功～】

火星の大気密度は地球の約1%と薄いため、飛行は難しいとされていたが、太陽電池で動く重さ1.8キロ全長1.2メートルのプロペラ2枚を回転させるヘリ飛行が成功。プログラムにより自動で高さ約3メートルまで上昇し、約30秒静止。その後、降下して4本脚で着地する計画を無事にこなし



ドライバーズ トピックス

【交通事故死 初0！！～統計開始53年～】

春の全国交通安全運動が実施されていた4月8日は、全国で交通事故による死者が1人もいなかったことが警察庁のまとめで分かった。1968年以降、53年たって初めてゼロになった。

警察は、交通事故が発生してから24時間以内に亡くなった人を死者として計上。8日は交通事故死亡事故が発生しなかったうえ、前日起きた事故のけが人が無くなって死者として計上されることもなかった。



【飲酒運転撲滅なるか?!～福岡県条例施行 警告2回で受信義務 4月から～】

改正福岡県飲酒運転撲滅条例が施行された。

道交法では酒気帯び状態で運転する飲酒運転を呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコール分が検出された場合としている。

基準値未満の違反者は警察から「警告」を受けるだけだったが、福岡県内在住者は5年以内に警告を2回受けた場合、「アルコール依存症の診察」か「飲酒行動に関する指導」を受け義務が課せられ、従わないと県から受診か指導を受けよう勧告が出される。また、5年以内に検挙と警告を1回ずつ受けた人も対象となり、命令に従わなければ「5万円以下の過料」を科す罰則を設けている。

全面施行される改正条例には、飲酒運転常習者に一定数いると考えられるアルコール依存症の人を早期に治療につなげ、減少ペースを上げる狙いがある。



スーパームーン 助け舟

米紙ウォール・ストリート・ジャーナルは、エジプト・スエズ運河のコンテナ船が離礁に成功した背景には、地球と月の距離が近づき大きな満月になる「スーパームーン」があったと伝えた。

スーパームーンは年に数回見られる現象で、今回は今年最初だった。

なめたココア 苦い報告

新型コロナウイルスの感染者と濃厚接触した可能性を知らせるスマートフォン向けアプリ「COCOA」で一部利用者に接触通知が届かなかった問題の検証報告と再発防止策を発表。

厚労省にアプリ開発の知識や人員不足が原因だったとした。

再発防止策は、開発当初からテスト環境を整備する、文書なので指示内容を明確化することを挙げた。

全国的にコロナ患者急増中
感染対策徹底の上
日常の過ごし方に
気をつけて参りましょう

新型コロナウイルス
対策実施中

